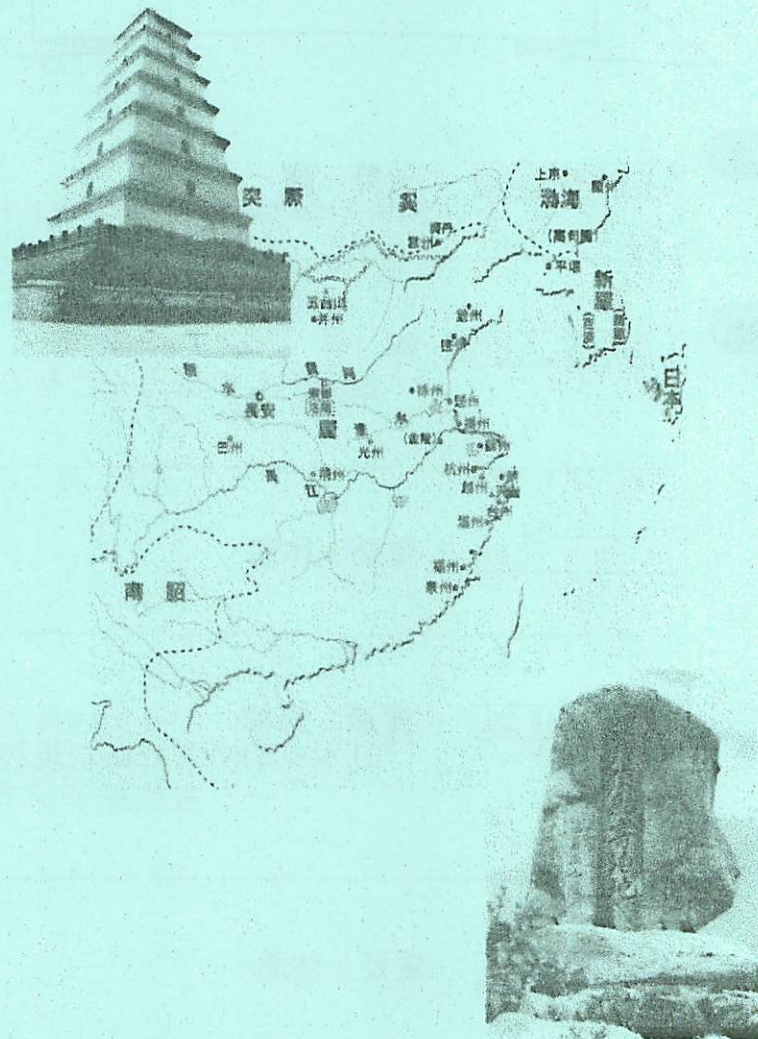


東アジア世界史研究センター 平成21年度 研究会

古代東アジア世界の探求



文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業（オープン・リサーチ・センター整備事業）

「古代東アジア世界史と留学生」

日時：平成21年7月25日（土）13:00～17:30
会場：専修大学神田校舎7号館8階784教室

平成21年度研究会 テーマ

古代東アジア世界の探求

プログラム

趣旨説明

13:00～13:10

矢野 建一

(東アジア世界史研究センター研究員/専修大学教授)

報告

13:10～14:10

韓 昇 (復旦大学教授)

「遣唐使人の伝える唐朝の制度」

14:10～14:30

質疑・休憩

14:30～15:30

廣瀬 憲雄 (日本学術振興会特別研究員 PD)

「日本—渤海間の擬制親族関係について
—「古代東アジア世界」の可能性—」

15:30～16:00

質疑・休憩

討論

16:00～17:30

パネリスト：韓 昇
廣瀬 憲雄

司会・進行：荒木 敏夫

(東アジア世界史研究センター代表/専修大学教授)

飯尾 秀幸

(東アジア世界史研究センター研究員/専修大学教授)

■ 報告者紹介 (五十音順・敬称略)

■ 荒木 敏夫 (あらかし おとしお) 専修大学文学部教授

東京都立大学大学院人文科学研究科史学専攻(博士課程)退学

【著書・論文】『可能性としての女帝—女帝と王権—』(青木書店、1999年) 『日本古代王権の研究』(吉川弘文館、2006年) 『日本の女性天皇』(小学館、2006年)

■ 飯尾 秀幸 (いいお ひでゆき) 専修大学文学部教授

東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学

【著書・論文】『中国古代社会史論』(共訳、名著刊行会、1997年) 『中国史のなかの家族』(山川出版社、2008年) 「中国古代の法と社会」『岩波講座、世界歴史』(第5巻、岩波書店、1998年) 「中国古代における個と共同性の展開」『歴史学研究』729号、1999年 「中国国家史研究は進んだか」『歴史学研究』782号、2003年 「中国古代における人の移動とその規制に関する基礎的研究」『専修大学人文科学年報』37号、2007年

■ 韓 昇 (かん しょう) 復旦大学歴史系・文史研究院・日本研究センター教授

アモイ大学大学院修了・博士

【著書・論文】『日本古代的大陸移民考』(台湾文津出版社、1995年) 『隋文帝伝』(人民出版社、1998年) 『正倉院』(上海人民出版社、2007年) 『東アジア世界形成史論』(復旦大学出版社、2009年) 『海東集—古代東アジア史実考』(上海人民出版社、2009年) 「白村江会戦前夜における唐と新羅、日本との関係」『東アジアと日本—交流と変容』第2号、九州大学21世紀COEプログラム(人文科学)、2005年 「五行と中日古代官服の色に関して」『アジア遊学—日本中国交流の諸相』別冊No.3、早稲田大学古代文学比較文学研究所編、2006年

■ 廣瀬 憲雄 (ひろせ のりお) 日本学術振興会特別研究員 PD

名古屋大学大学院文学研究科博士課程修了・博士

【著書・論文】「書儀と外交文書—古代東アジアの外交関係解明のために—」『続日本紀研究』360、2006年 「日本の対新羅・渤海名分関係の検討—『書儀』の礼式を参照して—」『史学雑誌』116—3、2007年 「古代東アジア地域対外関係の研究動向—『冊封体制』論・『東アジア世界』論と『東夷の小帝国』論を中心に—」『歴史の理論と教育』129・130、2008年

■ 矢野 建一 (やの けんいち) 専修大学文学部教授

立教大学大学院文学研究科博士課程修了

【著書・論文】『遣唐使の見た中国と日本』(共著、朝日新聞社、2005年) 『長安都市文化と朝鮮・日本』(共編著、汲古書院、2007年) 『長安都市文化と朝鮮・日本』(共編著、三秦出版社、2008年) 「井真成研究—その後の研究動向によせて—」『人文科学年報』37号、2007年 「中国における入唐留学生研究の動向」『人文科学年報』38号、2008年 「遣唐使の派遣と春日山祭祀」『東アジア世界史研究センター年報』1号、2008年

東アジア世界史研究センター

〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田2-1-1

TEL/044-911-1283 FAX/044-911-1348

E-mail : east-asia@isc.senshu-u.ac.jp

主催：専修大学社会知性開発研究センター／東アジア世界史研究センター